



ALLIANCEBERNSTEIN®

## 交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・  
ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）

〔愛称：NK・コンパス（羅針盤）〕

追加型投信／内外／債券

第281期（決算日2020年12月10日） 第282期（決算日2021年1月12日） 第283期（決算日2021年2月10日）

第284期（決算日2021年3月10日） 第285期（決算日2021年4月12日） 第286期（決算日2021年5月10日）

作成対象期間（2020年11月11日～2021年5月10日）

| 第286期末（2021年5月10日） |           |
|--------------------|-----------|
| 基準価額               | 5,118円    |
| 純資産総額              | 14,696百万円 |
| 第281期～第286期        |           |
| 騰落率                | 5.4%      |
| 分配金（税込み）合計         | 120円      |

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）」は、このたび第286期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて世界中の公社債の中から相対的に投資価値の高い証券に分散投資することにより、インカム・ゲインの確保とともにキャピタル・ゲインの獲得をめざすアクティブ運用を行います。第281期から第286期もこれに沿った運用を行ってまいりましたので、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

## &lt;「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法&gt;

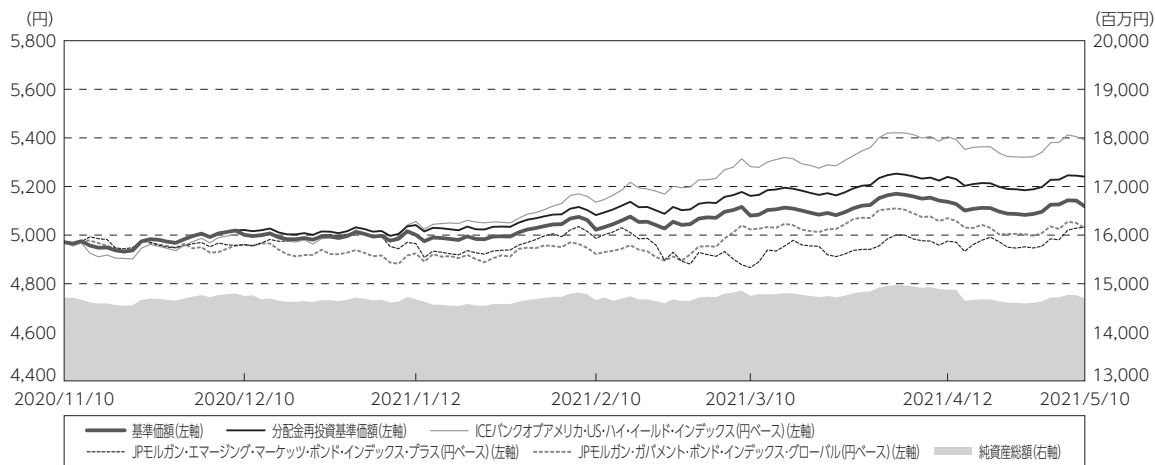
上記ホームページアドレスにアクセス ➡ 「基準価額一覧（国内投資信託）」を選択 ➡ 「債券型」の表内の当ファンド名を選択 ➡ 「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

## 運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」といことがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2020年11月11日～2021年5月10日）



第281期首：4,971円

第286期末：5,118円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：5.4%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2020年11月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細はP5をご参照ください。

### ○基準価額の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前作成期末比5.4%の上昇<sup>\*</sup>となりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当該決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

値上がり要因

- ・ハイイールド社債の価格上昇
- ・円安ドル高の進行
- ・保有債券の利息収入

値下がり要因

- ・米国国債の価格下落

1 万口当たりの費用明細

(2020年11月11日～2021年5月10日)

| 項 目                     | 第281期～第286期 |         | 項 目 の 概 要                                          |
|-------------------------|-------------|---------|----------------------------------------------------|
|                         | 金 額         | 比 率     |                                                    |
| (a) 信 託 報 酬             | 円 43        | % 0.845 | (a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率                        |
| ( 投 信 会 社 )             | (19)        | (0.382) | 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価                       |
| ( 販 売 会 社 )             | (22)        | (0.436) | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価  |
| ( 受 託 会 社 )             | ( 1)        | (0.027) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                            |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料       | 0           | 0.000   | (b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数            |
| ( 株 式 )                 | ( 0)        | (0.000) | 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料                 |
| (c) そ の 他 費 用           | 1           | 0.010   | (c) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数                |
| ( 保 管 費 用 )             | ( 0)        | (0.005) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| ( 監 査 費 用 )             | ( 0)        | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                        |
| ( そ の 他 )               | ( 0)        | (0.001) | その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等                    |
| 合 計                     | 44          | 0.855   |                                                    |
| 作成期間中の平均基準価額は、5,052円です。 |             |         |                                                    |

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

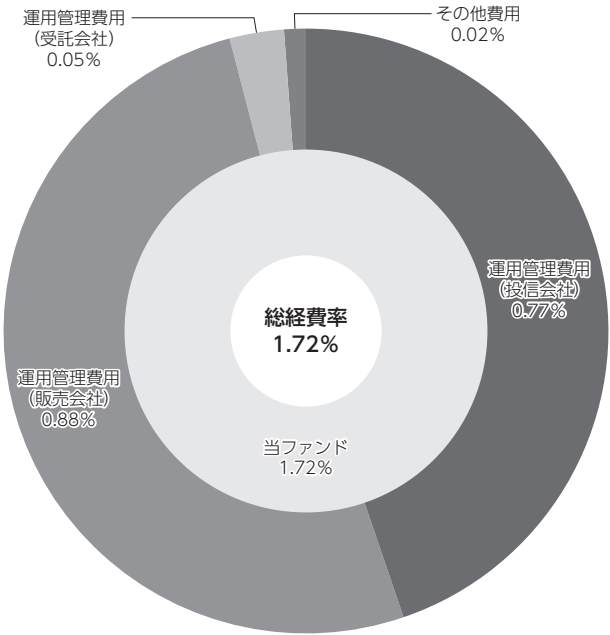
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

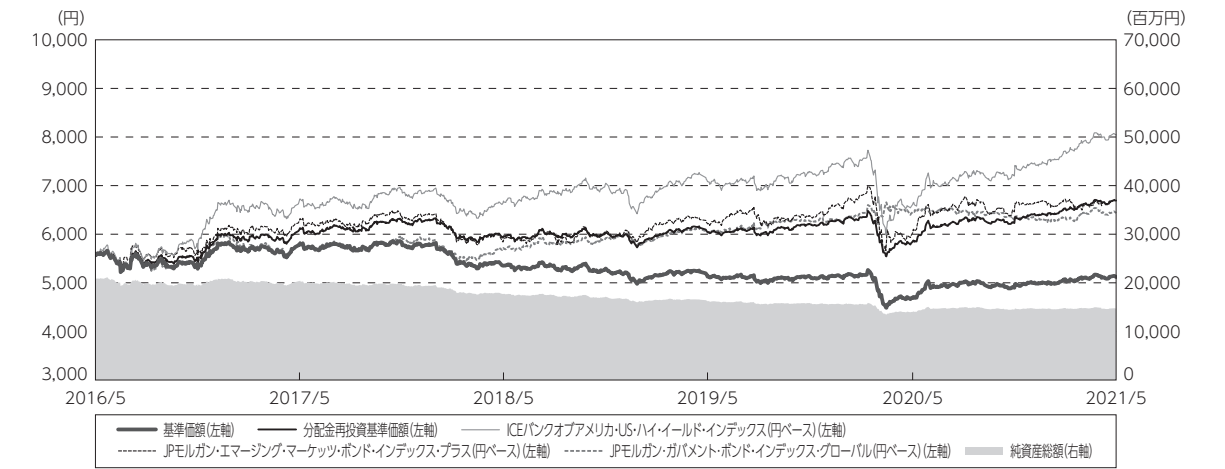
作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
(注) 各比率は、年率換算した値です。  
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。  
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年5月10日～2021年5月10日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2016年5月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

|                                                   | 2016年5月10日<br>決算日 | 2017年5月10日<br>決算日 | 2018年5月10日<br>決算日 | 2019年5月10日<br>決算日 | 2020年5月11日<br>決算日 | 2021年5月10日<br>決算日 |
|---------------------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)                                          | 5,564             | 5,779             | 5,351             | 5,127             | 4,691             | 5,118             |
| 期間分配金合計 (税込み) (円)                                 | —                 | 300               | 300               | 300               | 280               | 240               |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%)                                 | —                 | 9.6               | △ 2.3             | 1.5               | △ 3.3             | 14.4              |
| ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス (円ベース) 騰落率 (%)     | —                 | 20.4              | △ 0.2             | 6.0               | △ 6.6             | 21.6              |
| JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス (円ベース) 騰落率 (%) | —                 | 12.8              | △ 6.5             | 5.8               | △ 3.0             | 11.5              |
| JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル (円ベース) 騰落率 (%)      | —                 | 4.6               | △ 1.7             | 5.5               | 7.0               | △ 0.3             |
| 純資産総額 (百万円)                                       | 20,789            | 20,330            | 17,701            | 16,208            | 14,018            | 14,696            |

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。  
(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。  
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
(注) 参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細はP5をご参照ください。

●参考指数に関して

○ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）

ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス<sup>(\*)</sup>は米ドル建てで発行されたハイ・イールド・ボンド市場の動きを示す指数です。ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス<sup>(\*)</sup>（円ベース）は、ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス<sup>(\*)</sup>（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

（\*）ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス：ICE BofA US High Yield Index

○JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、エマージングの債券市場の動きを表す指数で、新興国が発行する米ドル建ての国債を対象に時価総額ベースで算出されたものです。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバルは、先進国の債券市場の動きを表す指数で、先進国が発行する国債を対象に算出されたものです。JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（米ドルヘッジベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

## 投資環境

（2020年11月11日～2021年5月10日）

当作成期の債券市場については、先進国国債は軟調に推移し、新興国債券は前作成期末比横ばいでした。一方、ハイイールド社債は堅調に推移しました。また、為替市場では円安ドル高が進行しました。

### 先進国の国債：

**米国国債**は、バイデン政権による追加経済対策や新型コロナウイルスワクチン普及による早期景気回復への期待などから2021年3月末にかけて金利は上昇（価格は下落）基調で推移しました。その後は緩和的な金融政策の長期化観測を受けて金利はやや低下しました。

**ドイツ国債**は、2020年12月半ばにかけては、経済の先行き不透明感が高まり金利は低下しました。その後はワクチン接種の開始が好感されたことや、イギリスと欧州連合（EU）が通商協定で合意すると期待から、2021年2月末にかけて金利は上昇基調で推移しました。3月下旬にかけては、変異株の拡大によるユーロ圏内でのロックダウン強化から金利はやや低下したものの、その後は景気回復期待から上昇しました。

**日本国債**は、2020年12月半ばにかけて金利は低下したものの、2021年2月末にかけては欧米の国債金利上昇や世界の国債市場に拡大しているインフレ高進の見方に追随する形で金利は上昇しました。その後は国内の新型コロナウイルス感染者数の増加を受けて緊急事態宣言が発令されたことなどを背景に低下基調で推移しました。

### ハイイールド社債：

2021年2月半ばにかけては、堅調な欧米の株式市場の流れを受けて上昇基調で推移しました。その後は米国国債金利の上昇を嫌気して3月下旬にかけてやや下落したものの、金利上昇が一服すると米国の良好な経済指標などを受けて再び上昇しました。

### 新興国債券：

2020年12月末にかけては、リスクオンの流れから出遅れていた低格付けのアフリカ諸国や中南米の国を中心に堅調に推移しました。2021年3月上旬にかけては米ドル高および米国国債金利の上昇を受けて下落しましたが、その後は米国金利が緩やかに低下したことを受けて上昇基調で推移しました。

### 為替市場：

円ドル・レートは、2021年年初にかけて円高ドル安基調で推移しました。その後3月末にかけては米国国債金利の上昇に伴い円安ドル高が進行しました。4月に入り米国国債金利の上昇が一服すると円高に転じましたが、4月中旬以降は再び円安ドル高基調で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年11月11日～2021年5月10日）

### <当ファンド>

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的としています。

マザーファンドは先進国の投資適格債への投資により、中長期的に安定した収益を確保するとともに、ハイイールド社債や新興国債券などにも投資を行い、高水準のインカム・ゲインの確保とキャピタル・ゲインの獲得を目指しております。

当ファンドは当作成期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

### <マザーファンド>

世界中の公社債の中から相対的に投資価値が高い証券に分散投資を行います。運用にあたっては当作成期も引き続き債券セクター間の投資収益率の格差に着目し、より高い収益が期待される債券セクターに機動的に資産配分を行いました。

その結果、先進国の投資適格社債や新興国債券の組入比率が上昇した一方、先進国の国債の組入比率は低下しました。

当作成期間中の売買では、先進国の国債については、米国国債を一部売却しました。先進国の投資適格社債およびハイイールド社債については、エネルギー関連銘柄などを買い増した一方、金融関連銘柄などを一部売却しました。新興国債券については、ブラジル国債などを買い増した一方、グアテマラ国債を全て売却しました。

### <公社債のセクター別組入比率（マザーファンド）>

前作成期末（2020年11月10日現在）

| セクター        | 比率    |
|-------------|-------|
| ハイイールド社債    | 34.7% |
| 新興国債券       | 23.6% |
| 先進国の国債      | 20.0% |
| 先進国の投資適格社債等 | 19.8% |
| その他資産       | 0.2%  |
| 現金等         | 1.7%  |



当作成期末（2021年5月10日現在）

| セクター        | 比率    |
|-------------|-------|
| ハイイールド社債    | 34.5% |
| 新興国債券       | 24.5% |
| 先進国の投資適格社債等 | 21.3% |
| 先進国の国債      | 16.3% |
| その他資産       | 0.2%  |
| 現金等         | 3.2%  |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合（それぞれ小数第2位を四捨五入）。

（注）「その他資産」は、株式、新株予約権付社債（転換社債）の合計。

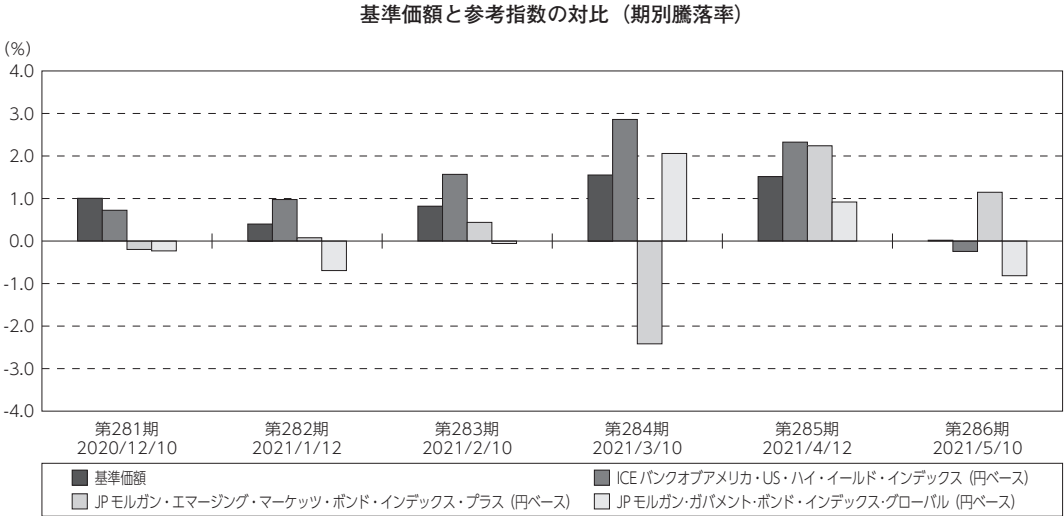
（注）格付はムーディーズとS&Pのうちいずれか高い方を採用して集計したものです。



当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年11月11日～2021年5月10日)

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
(注) 参考指数は、ICEバンクオブアメリカ・US・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円ベース）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・グローバル（円ベース）です。詳細はP 5をご参照ください。

分配金

(2020年11月11日～2021年5月10日)

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については、以下をご覧ください(当作成期間合計：120円)。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目       | 第281期                       | 第282期                      | 第283期                     | 第284期                     | 第285期                     | 第286期                     |
|-----------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
|           | 2020年11月11日～<br>2020年12月10日 | 2020年12月11日～<br>2021年1月12日 | 2021年1月13日～<br>2021年2月10日 | 2021年2月11日～<br>2021年3月10日 | 2021年3月11日～<br>2021年4月12日 | 2021年4月13日～<br>2021年5月10日 |
| 当期分配金     | 20                          | 20                         | 20                        | 20                        | 20                        | 20                        |
| (対基準価額比率) | 0.398%                      | 0.398%                     | 0.397%                    | 0.392%                    | 0.388%                    | 0.389%                    |
| 当期の収益     | 17                          | 16                         | 16                        | 17                        | 20                        | 12                        |
| 当期の収益以外   | 2                           | 3                          | 3                         | 2                         | －                         | 7                         |
| 翌期繰越分配対象額 | 205                         | 201                        | 198                       | 195                       | 196                       | 189                       |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。

## 今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

世界経済は、新型コロナウイルスの影響により不確実性が残るものの、ワクチン接種の進展による患者数の減少や、インフラ投資をはじめとする新たな経済政策がけん引役として期待されます。主要国による過去最大級の財政政策や金融政策などが追い風となり、2021年の世界経済はプラス成長になると予想しています。

先進国のうち、米国経済は、新型コロナウイルスの感染者数減少や、2021年3月に可決された追加経済対策に加えバイデン政権が打ち出した「米国雇用計画」や「American Families Plan」などから経済活動が徐々に回復するとみられます。幅広いペントアップディマンド（繰越需要）に下支えされ、2021年はプラス成長に回復すると予想しています。

ハイイールド社債については、発行体のファンダメンタルズが回復に転じ、デフォルト率も2020年のピークから低下が続いています。需給環境については、2021年年初から積極的な起債の動きが続くものの、順調に消化されています。引き続き短期的なボラティリティの高まりには注意が必要ですが、大規模な価格下落には至らないとみています。運用にあたっては、デューレーションが短く十分に分散されたポートフォリオを維持します。また、ファンダメンタルズ対比で割安と判断する銘柄について追加の組入れを検討する方針です。

新興国債券については、引き続き新型コロナウイルスなどをめぐる不確実性があるものの、ワクチン接種が進展していることや、コモディティ需要が堅調であることなどから新興国の経済を支援する経済環境であると考えています。また、主要20カ国・地域（G20）や国際通貨基金（IMF）による債務の返済猶予や緊急融資制度なども、新興国の経済を支えると考えています。引き続き、各国固有の状況を勘案した投資判断が重要と考えており、構造改革が進展するなど財政改善が見込める国や悪材料を十分に織り込み、価格面での魅力が出てきた国に注目しています。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

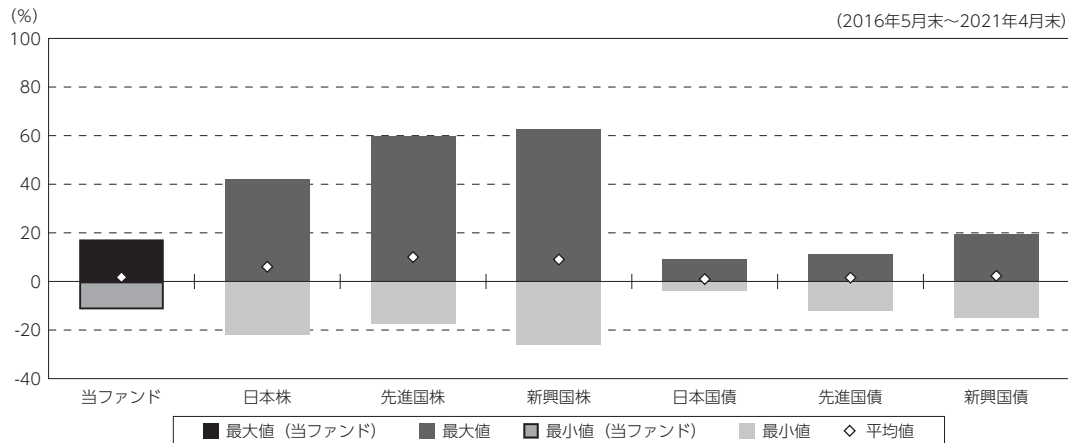
該当事項はございません。

当ファンドの概要

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類     | 追加型投信／内外／債券                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                         |
| 信 託 期 間     | 無期限                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                         |
| 運 用 方 針     | インカム・ゲインの確保とともに、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                         |
| 主 要 投 資 対 象 | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープンA（為替ヘッジなし）                                                                                                                                                                                                                                                                               | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。                                   |
|             | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 米国および米国外の投資適格国の国債・政府機関債、米国内のアセット・バック証券、米国内外の投資適格社債および高利回り社債、エマージング・カントリー公社債を主な投資対象とします。 |
| 運 用 方 法     | ①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、米国をはじめ世界中の公社債の中から、相対的に投資価値の高い証券に分散投資することにより、インカム・ゲインの確保とともにキャピタル・ゲインの獲得をめざします。<br>②債券セクター間の投資収益率の格差に着目し、より高い収益が期待される債券セクターに機動的にウェートをかけた資産配分を行い、アクティブに運用します。<br>③運用は、アライアンス・バーンスタイン（AB）のグループ会社に委託します。<br>④毎月決算を行い、投資する公社債のインカム・ゲイン等をもとに分配します。<br>⑤外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。<br>⑥ファミリーファンド方式で運用します。 |                                                                                         |
| 分 配 方 針     | 毎月決算を行い、原則として以下の方針により分配を行います。<br>①分配対象額は、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。また、繰越欠損金がある時は、これを控除します。）等の全額とします。<br>②分配金は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。<br>③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。                                                                                       |                                                                                         |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

|     | 当ファンド  | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国債   | 新興国債   |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 17.3   | 42.1   | 59.8   | 62.7   | 9.3   | 11.4   | 19.3   |
| 最小値 | △ 11.5 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 26.1 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 15.0 |
| 平均値 | 1.7    | 6.0    | 10.0   | 9.0    | 1.0   | 1.6    | 2.3    |

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2016年5月～2021年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株……TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株……MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……NOMURA – BPI 国債
- 先進国債……FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P16の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

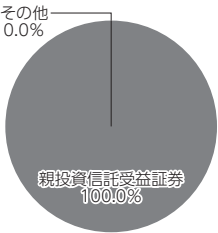
組入資産の内容 (2021年5月10日現在)

組入ファンド

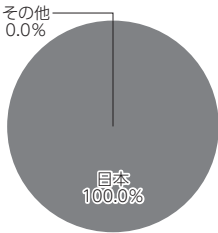
| 銘柄名                                  | 第286期末 |
|--------------------------------------|--------|
|                                      | %      |
| アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド | 100.0  |
| 組入銘柄数                                | 1銘柄    |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

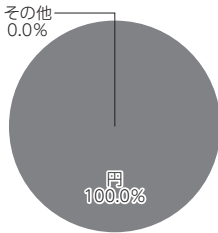
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

| 項 目         | 第281期末          | 第282期末          | 第283期末          | 第284期末          | 第285期末          | 第286期末          |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|             | 2020年12月10日     | 2021年 1月12日     | 2021年 2月10日     | 2021年 3月10日     | 2021年 4月12日     | 2021年 5月10日     |
| 純 資 産 総 額   | 14,747,652,988円 | 14,680,528,807円 | 14,661,356,348円 | 14,750,532,206円 | 14,877,024,649円 | 14,696,269,545円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 29,490,313,424口 | 29,356,035,760口 | 29,194,886,107口 | 29,038,727,283口 | 28,962,490,348口 | 28,714,103,532口 |
| 1万口当たり基準価額  | 5,001円          | 5,001円          | 5,022円          | 5,080円          | 5,137円          | 5,118円          |

(注) 当作成期間（第281期～第286期）中における追加設定元本額は306,915,570円、同一部解約元本額は1,174,776,547円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。



【1万口当たりの費用明細】  
(2019年11月12日～2020年11月10日)

| 項 目                                           | 当 期             |                             |
|-----------------------------------------------|-----------------|-----------------------------|
|                                               | 金 額             | 比 率                         |
|                                               | 円               | %                           |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>(株 式 )                   | 0<br>(0)        | 0.001<br>(0.001)            |
| (b) ( そ の 他 費 用 )<br>( 保 管 費 用 )<br>( そ の 他 ) | 4<br>(2)<br>(2) | 0.030<br>(0.012)<br>(0.018) |
| 合 計                                           | 4               | 0.031                       |

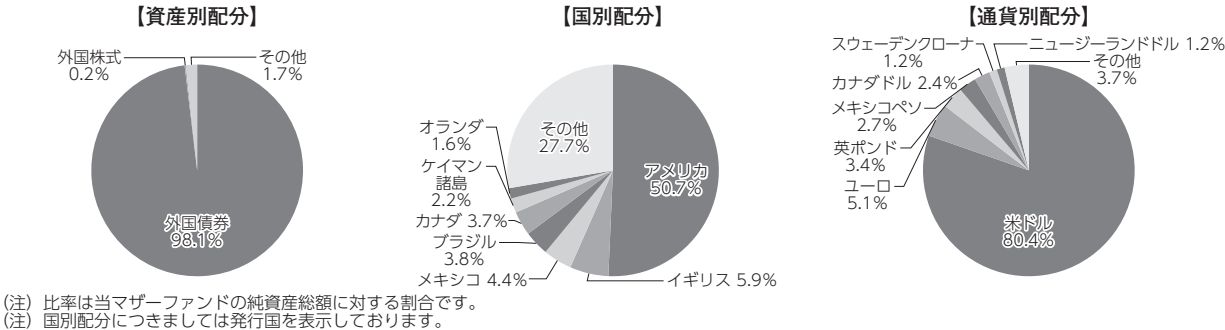
期中の平均基準価額は、13,092円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。  
(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。  
(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】  
(2020年11月10日現在)

|       | 銘 柄 名                               | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨        | 国 ( 地 域 ) | 比率 % |
|-------|-------------------------------------|-------------|------------|-----------|------|
| 1     | US TREASURY 7.625% 2025/2/15        | 国債証券        | 米ドル        | アメリカ      | 7.3  |
| 2     | UK TREASURY 4.25% 2040/12/7         | 国債証券        | 英ポンド       | イギリス      | 2.7  |
| 3     | CANADIAN GOVERNMENT 2.5% 2024/6/1   | 国債証券        | カナダドル      | カナダ       | 2.0  |
| 4     | MEXICAN BONOS 10% 2024/12/5         | 国債証券        | メキシコペソ     | メキシコ      | 1.4  |
| 5     | US TREASURY 7.125% 2023/2/15        | 国債証券        | 米ドル        | アメリカ      | 1.4  |
| 6     | SWEDISH GOVERNMENT 5% 2020/12/1     | 国債証券        | スウェーデンクローナ | スウェーデン    | 1.2  |
| 7     | REPUBLIC OF BRAZIL 7.125% 2037/1/20 | 国債証券        | 米ドル        | ブラジル      | 1.0  |
| 8     | SPANISH GOVERNMENT 4.2% 2037/1/31   | 国債証券        | ユーロ        | スペイン      | 1.0  |
| 9     | BELGIUM KINGDOM 3.75% 2045/6/22     | 国債証券        | ユーロ        | ベルギー      | 1.0  |
| 10    | MEXICAN BONOS 5.75% 2026/3/5        | 国債証券        | メキシコペソ     | メキシコ      | 0.9  |
| 組入銘柄数 |                                     |             | 635銘柄      |           |      |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。



【直物為替先渡取引残高】 (2020年11月10日現在)

| 銘 柄 別 |             | 取引契約残高   |        |       |        |
|-------|-------------|----------|--------|-------|--------|
|       |             | 当期末想定元本額 |        |       |        |
|       |             | 買 建 額    |        | 売 建 額 |        |
|       |             | 外貨建金額    | 邦貨換算金額 | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| 米ドル   |             | 千米ドル     | 百万円    | 千米ドル  | 百万円    |
|       | (ブラジルリアル)   | —        | —      | 1,172 | 123    |
|       | (インドネシアルピア) | —        | —      | 1,063 | 111    |
|       |             |          |        |       |        |



## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。